

～第16回～

Mie Film Festival 2018

三重映画フェスティバル

～若い世代に繋ぐ、金子安雄の映像世界～

津市生まれ、活躍した映像作家・金子安雄作品と
三重県内高等学校放送部作品を同時上映！

2018年 10月21日(日)

13:30 開演 (13:00 開場)



津センターパレス地下1階 津市市民活動センター

スケジュール

13:30～15:00

第1部 上映会

金子安雄作品上映

* 昨年、「金子安雄生誕 110 年記念上映会」(当委員会主催)
にて上映された作品の中から、1930 年代に製作の短編映画
数本を上映します

高等学校放送部作品上映

- 青山高等学校 「スイッチ」
- 高田高等学校 「ボク、未練なんてない…よ」
- 三重高等学校 「帰宅部インターハイ」
- 鈴鹿高等学校 「恥多き人生に幸あれ」
(休憩)

15:10～16:00

第2部 トークショー

【登壇者】高垣 和郎さん

(津フィルムコミッション「ロケッ津」代表)

映像製作に関わった高校生

進行：三重映画フェスティバル実行委員会会長・田中忍

定員：50名

(一般の方20名、三重県高等学校放送連盟高校生30名)

入場料：無料(申込み要)

申込方法：事前申込制・先着順(座席に余裕がある場合当日参加可)

下記当委員会までお電話でお申し込みください

金子 安雄 (1907-1988)



金子安雄は、津市で生まれたアマチュア映像作家で、戦前アマチュア映画の世界で入賞歴は多く、その系統の映画誌でも活躍、全国に名が行きわたっていました。

本上映会では、80数年前、デジタルやCGのない時代に製作された金子安雄の映像と現代の高等学校放送部の映像作品を上映し、氏の「映像によってどのような表現ができるのか」を高校生が知ること、自らの映像製作の糧や気づきになればと願います。また、普段観る機会の少ない氏及び高等学校放送部の映像作品を、市民の方にもご覧いただきたいと考えます。

なお、映像製作の経験を持ち、生前の金子安雄と交流のあった、津フィルムコミッション「ロケッ津」代表の高垣和郎さんに参加してもらい、地域で撮影する際のアドバイスをお聞きします。

主催：三重映画フェスティバル実行委員会

共催：三重県高等学校放送連盟

後援：津市、津市教育委員会

問い合わせ・申込み：

三重映画フェスティバル実行委員会(田中)

TEL 090-8735-8971

[デザイン]

松阪高校2年 大西亜紗海